

2022.12.15

ノリなしで、はってはがせる
ミロクなシート

入稿データ作成の手引き

本マニュアルは、『ミロクなシート』(UV印刷)に関する入稿データ作成ルールです。
オフセット印刷や他社印刷でのデータ作成には
適応されませんのでご注意ください。

クロコン

1 入稿は完全データにて

「完全データ」とは、以下の入稿仕様を全て満たす Kurokon で修正する必要がない ai データ を指します。データが不完全な場合は、お客様に調整いただいた上で再入稿をお願いしております。「ai データがない」「完全データの作成が欲しい」場合は、データ作成サービス 有料 をご依頼ください。

2 推奨ソフト

- Adobe Illustrator CS2~CC2020
 - Adobe Photoshop CS2~CC2020
- ※上記ソフトでの作成が困難な場合はご相談ください

3 新規ドキュメントの設定（印刷用データ割付前のデザイン原版）

- ①データは原寸で作成してください。※印刷用データへの割付時に発生する多少の拡大縮小は OK
- ②データは CMYK で作成してください。（→ **1** 参照）
- ③解像度は [高解像度 (300ppi)] で作成してください。（→ **1** 参照）

4 データ作成時の注意

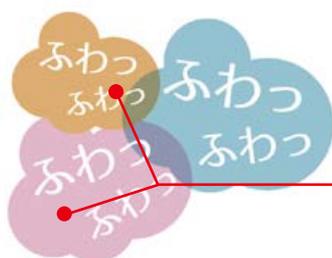
- ①文字のアウトライン化をしてください
- ②画像はリンクで貼ってください。リンク切れが無いか確認して入稿してください。（→ **2** 参照）
- ③アートボードサイズは W950mm × H1000mm としてください。（→ **3** 参照）
- ④2mm 以上の塗り足し幅（ヌリたし）が必要です。（→ **5** -2 参照）

5 オーバープリント設定に関する注意

基本的にはオーバープリントは『無し』の状態にしておいてください（デザインに応じて意図的にオーバープリントにする場合を除く）。Adobe Illustrator はデフォルトではオーバープリントは『無し』の状態になっておりますが、他のファイルデータからの素材やライセンスフリーのイラストをコピー＆ペーストしたりすると、意図せずにオーバープリント状態になってしまうこともあります。確認の方法としては『表示→オーバープリントプレビュー』でどこがオーバープリント設定になっているかを調べることができます。



オーバープリント無し
（正常な状態）



オレンジとピンクの雲型に
オーバープリントがかかっている

表示	ウィンドウ	ヘルプ
CPU で表示		⌘E
アウトライン		⌘Y
オーバープリントプレビュー		⇧⌘Y
ピクセルプレビュー		⇧⌘Y
トリミング表示		



オーバープリント設定にされてるオブジェクトを選択して『ウィンドウ→属性』から『塗りにオーバープリント』のチェックをはずす

1 新規ドキュメントの設定 (RGBとCMYK、解像度)

プリセットの詳細

名称未設定-3

幅
210 mm ミリメートル

高さ 297 mm 方向   アートボード 1

裁ち落とし

天 0 mm 地 0 mm

左揃え 0 mm 右揃え 0 mm

▼ 詳細オプション

カラーモード
CMYK カラー

ラスターライズ効果
高解像度 (300 ppi)

プレビューモード
指定なし

詳細設定

閉じる 作成

『割付』データ(3参照)に貼り付けるデザイン図版を制作する際に作成するIllustrator新規ドキュメント設定の参考にしてください。

任意

CMYKカラー
~~RGBカラー~~

高解像度 (300ppi)
~~標準 (150ppi)~~
~~スクリーン (72ppi)~~
~~36ppi~~

Adobe Illustrator 新規ドキュメントを作る際に、注意する点が主に2つ。

まずは、カラーモードを『CMYKカラー』に設定します。RGBカラーで作成したデータは印刷時に自動でCMYKに変換され、また面付け作業中にオペレーターによりCMYKに置き換えられます。その際、デザイン時に比べ、くすんだ色になるなど、印刷トラブルの原因となります。よって必ず設定時にCMYKカラーを選んでください。

次にラスターライズ効果は『高解像度 (300ppi)』に。それ以外の設定では印刷時や面付け時のトラブルの原因となります。

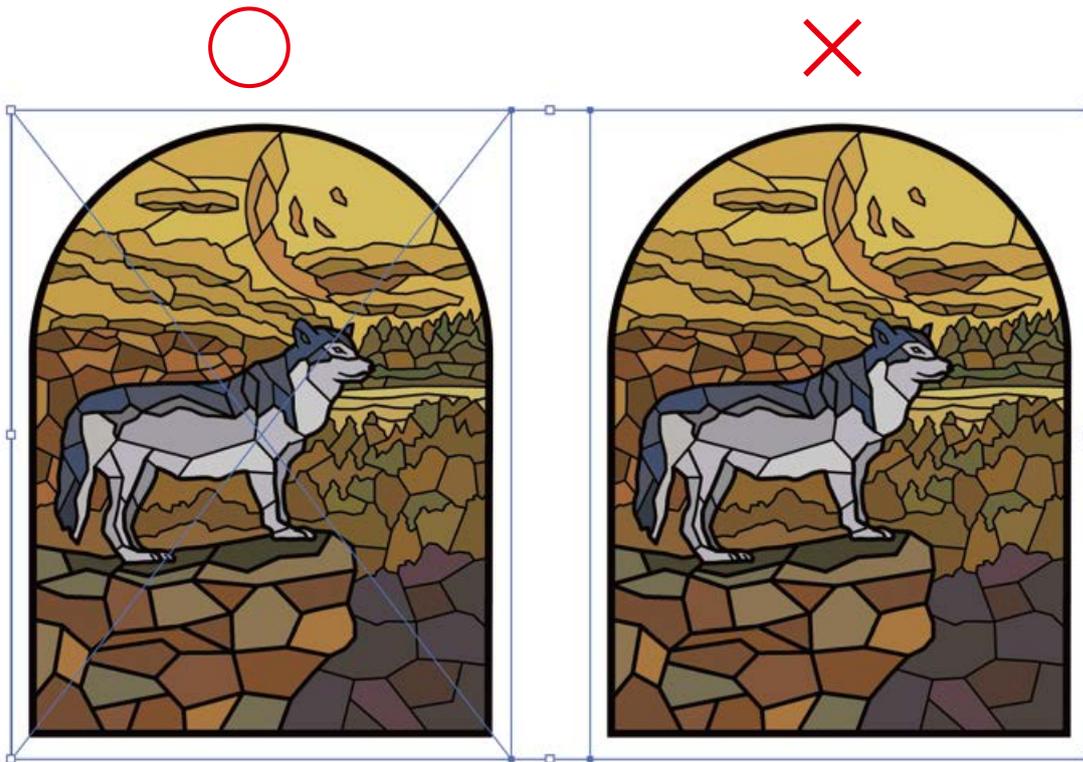
2 配置画像に関する注意事項

画像データをレイアウトしたデザインの場合

デザインに画像を使う場合、『埋め込み』は使わずに『配置』にしてください。

画像データはPhotoshopEPS (拡張子: .eps) またはPhotoshop (拡張子: .psd) を推奨します。

画像データのモードはCMYKをお願いします。RGBだと前項の記述にある通り自動でCMYKに変換されるのでご希望通りの配色にならない可能性があります。



『配置』画像

配置画像はIllustrator上で画像をクリック選択すると画像の周囲の線と四隅からの対角線が画面上に表示されます。

『埋め込み』画像

埋め込み画像はIllustrator上で画像をクリック選択すると画像の周囲に線画表示され、配置画像に見られる対角線は表示されません。この状態は、ほぼ間違いなく埋め込み画像となりますので『リンクの再設定』をするなどして、画像を再配置してください。

止むを得ず埋め込み画像を使うしかない場合（使用したい画像のPhotoshopデータが手元に無い、デザインデータに最初から埋め込み画像が使われていた、など）はご相談ください。

3 デザインデータ『割付』に関する注意事項

紙ロスの出ない効率的な割付

Adobe Illustratorのアートボード 幅950mm、縦1000mm (基本的にこのサイズがミロクなシートの1シート分)の内側6mmの範囲が印刷領域となります(下記図の青い点線の範囲)

また、紙ロスが出ないように、出来るだけ詰めて割付を行うのが理想ですが、プロッターカットラインの間隔は5mm以上※確保してください。※極端に間隔が空きすぎても紙ロスの原因となります。



図版外周からプロッターカットラインまでの幅

最低2mmをキープしてください。図版の大きさによって(図版と余白のバランス的に)2mm以上になる場合も、特に問題はありません。

データ作成に便利な“印刷用データ (Illustrator テンプレート)”
を mirokuna.com からダウンロードしてお使いください。

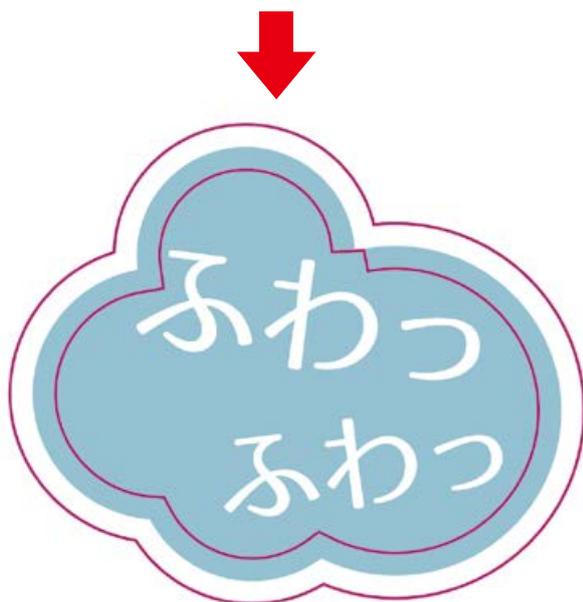
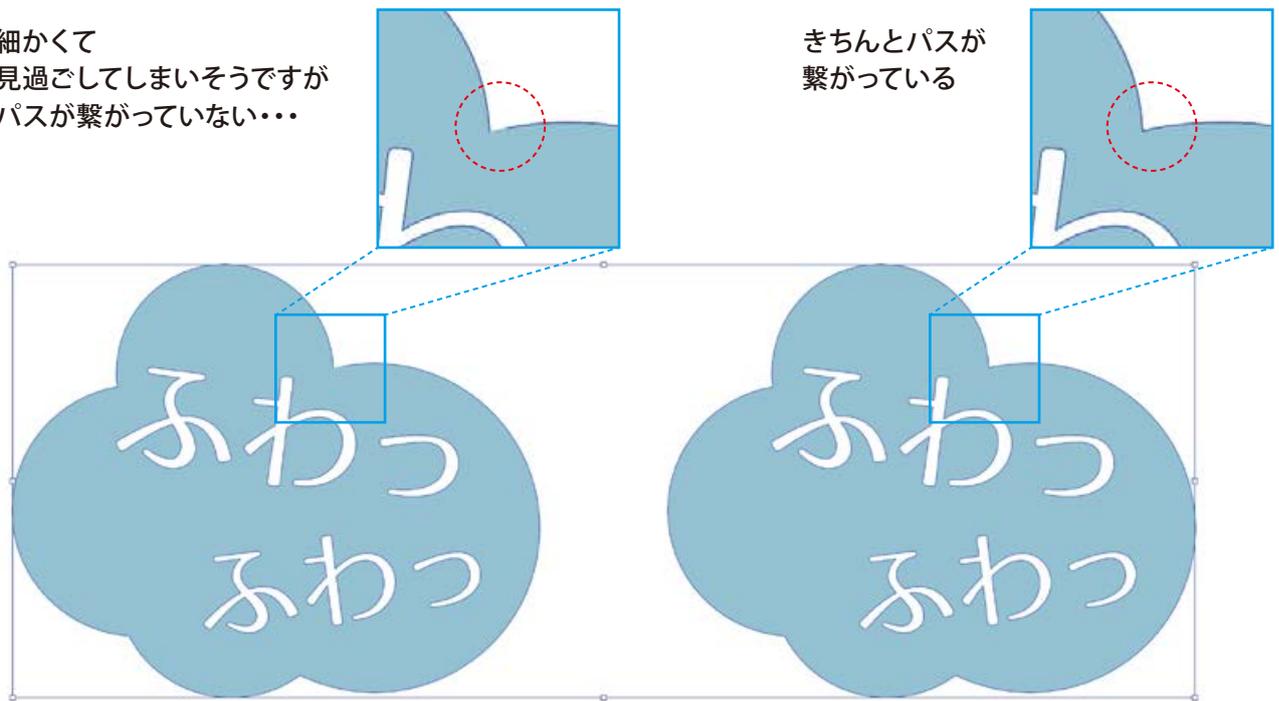
4 デザイン画外周のパス欠けに関する注意事項

カットライン作成時におこる不具合を回避するためにパスの再確認を

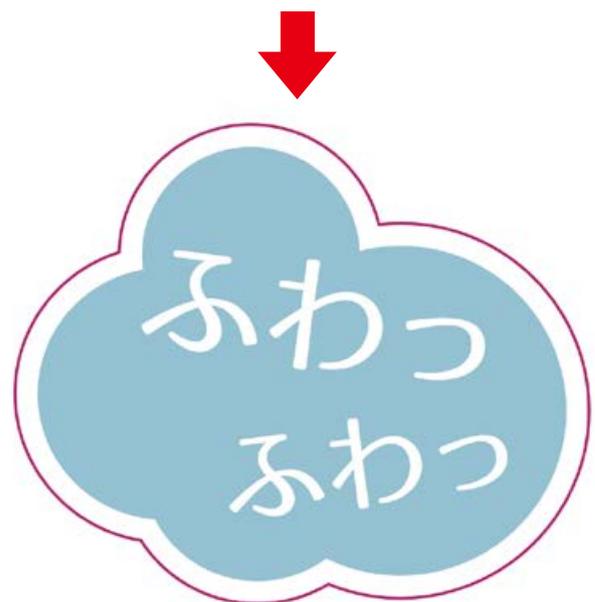
プロッターカットライン(シールなどの型抜き)を作成する際はIllustratorの『パスのオフセット』という機能を用いて作成すると便利です。その際に、デザインデータの外周パスに欠けがあると、下記のような不具合が生じます。

細かくて
見過ごしてしまいそうですが
パスが繋がっていない...

きちんとパスが
繋がっている



デザイン外周の外側だけでなく
内側にもラインがある状態に...



パスのオフセット機能により
プロッターカットラインが
きちんと描けている

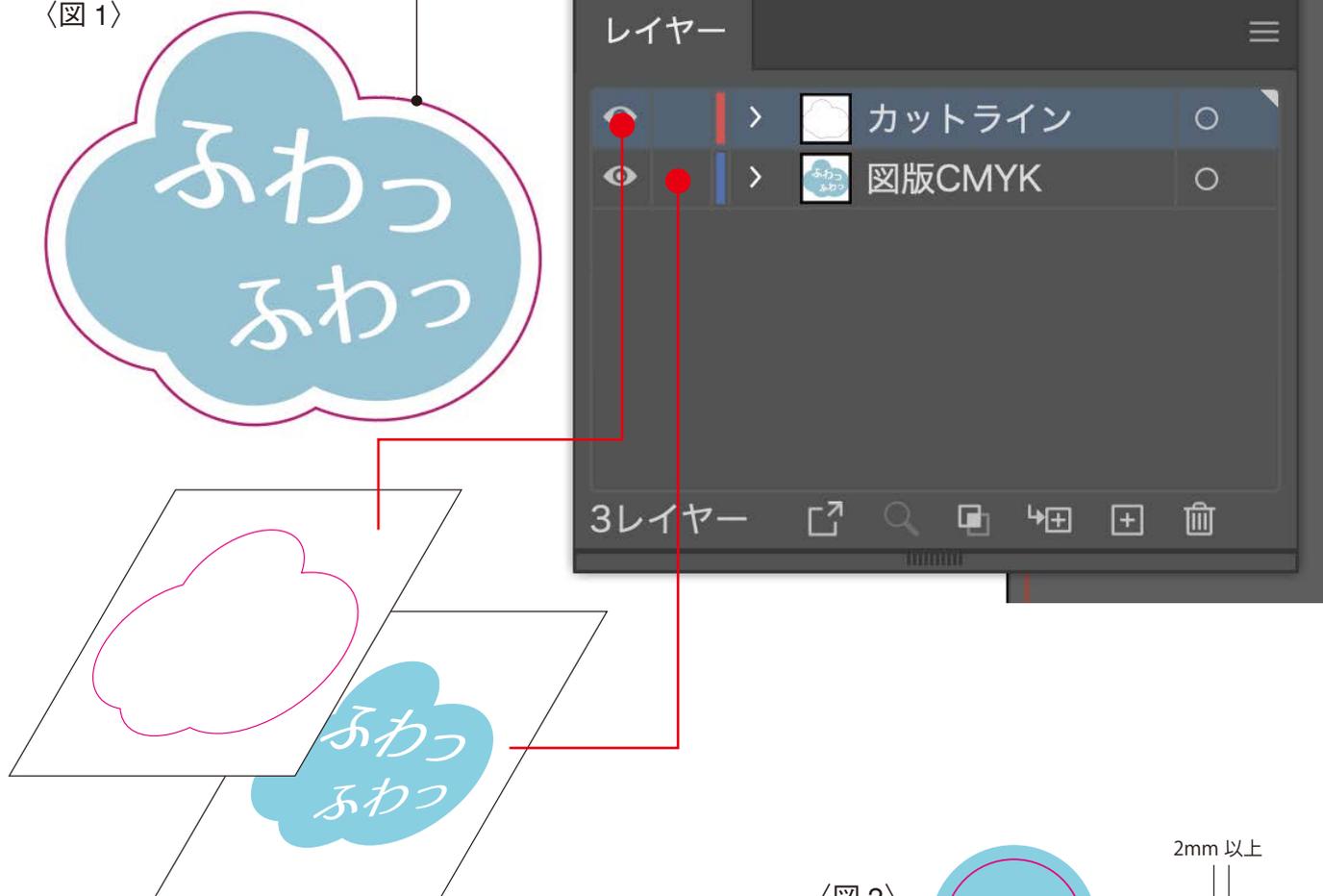
5 1層印刷に関するデザインデータに関する注意事項

5-1 白色シートへの印刷(1層印刷)

定番の白色シートへの印刷データはデザインを施すレイヤー(図版CMYK)とプロッターカットの形状を示したレイヤー(カットライン)の2版のレイヤーでデータ作成します。その際、Adobe Illustratorでのデータ作成において、レイヤーは上から『カットライン』『図版CMYK』とします。図版CMYKはデザインが描かれた絵柄(図版)のレイヤーとなり、カットラインはプロッターカットラインのことでステッカーの仕上がり形状となり、データ上では0.3~0.4ptの罫線で作成してください。〈図1〉プロッターカットラインの配色は **7** 参照

マゼンダ100%、線の太さ0.3~0.4pt
(デザインの色によりマゼンダが視認しづらい際は別の色でも可)

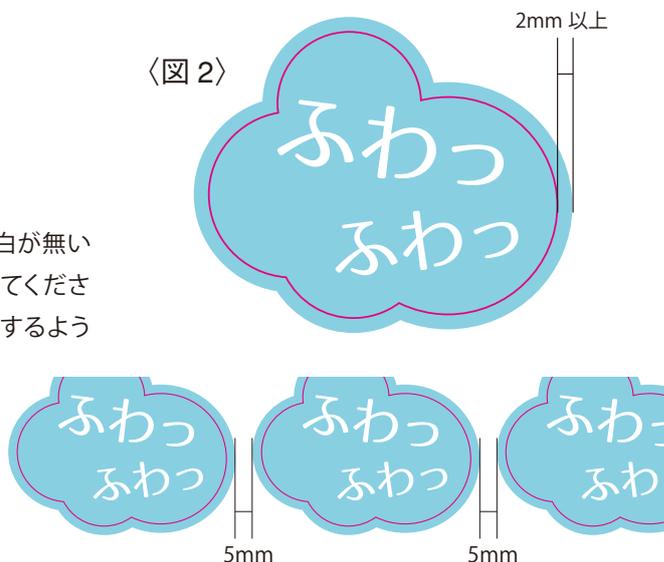
〈図1〉



〈図2〉

5-2 ヌリたしについて

ステッカー全面に色を敷く場合(カット位置まで色が入る、余白が無いパターン)はカットラインの外側に2ミリ以上のヌリたしを付けてください。割付けする際はヌリたしからヌリたしの間隔5mmをキープするように割付けてください。〈図2〉



6 2層印刷に関するデザインデータに関する注意事項

透明シートへの印刷(2層印刷)

透明シートへの印刷は図版の背面にCMYKとは別に白版を敷く『2層印刷』を推奨します。

その際、Adobe Illustratorでのデータ作成において、レイヤーは上から『カットライン』『図版CMYK』『白版』とします。

図版CMYKはデザインが描かれた絵柄(図版)のレイヤーとなり、カットラインはプロッターカットラインのことでステッカーの仕上がり形状となり、データ上では0.3~0.4ptの罫線で作成してください<図3>。最後に白版ですが、版ズレ防止のために図版CMYKレイヤーに描かれたデザインの外周より0.2~0.3mm内側におさまるように作成してください。<図3><図4>。

プロッターカットラインと白版への配色は [7](#) 参照

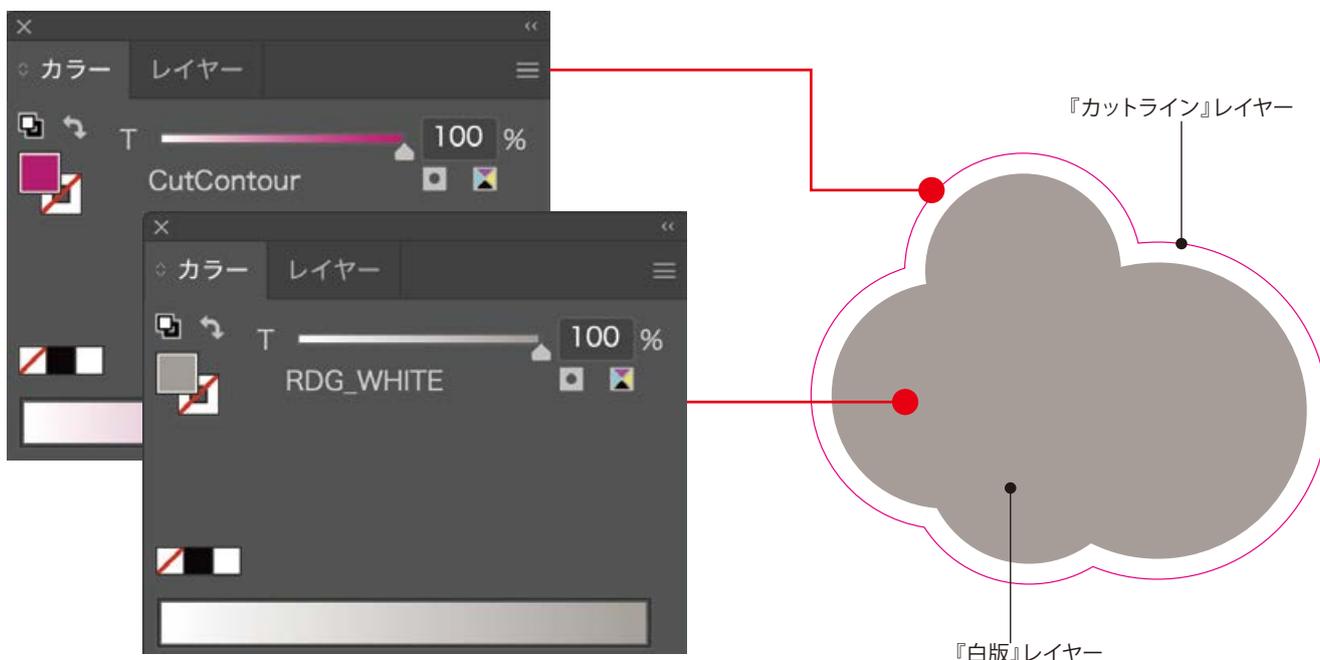
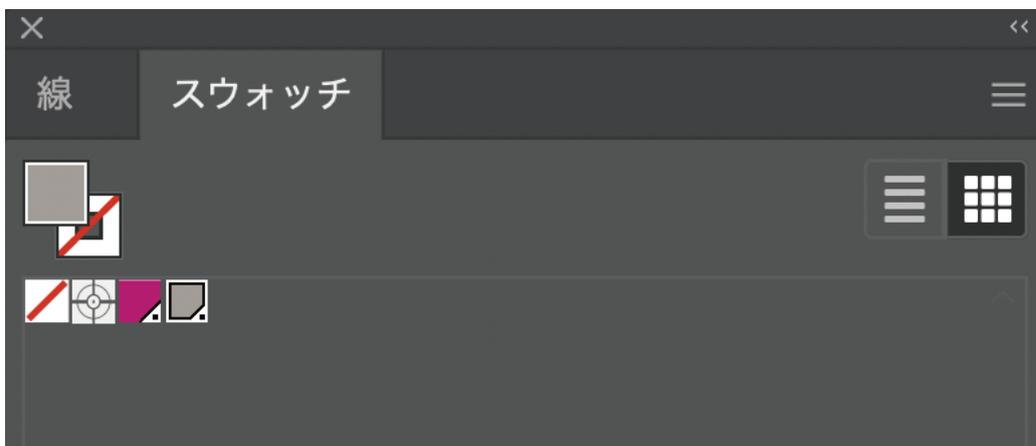


7 カットラインと白版の設定に関する注意事項(2層印刷)

カットラインと白版への配色は印刷用データ[※]のスウォッチを使用

プロッターカットラインと白版への配色はプロセスカラー (CMYK) 意外の設定をしなければいけません。印刷用データ[※]のスウォッチ内にある“特色”『CutContour』をプロッターカットラインに、『RDG_WHITE』を白版にそれぞれ設定してください。その際、図版CMYKレイヤーにあるデザイン図版に誤って『RDG_WHITE』や『CutContour』を使用しないでください。この2つの特色は、カットラインと白版のみに使用します。

※mirokuna.comダウンロードページから入手した“印刷用データ”内にあるスウォッチ



※『図版CMYK』レイヤーを省いた図で説明しています。
(実際にはカットライン、白版の間に図版CMYKレイヤーが存在しています)